

翔生

平成22年 夏秋号



各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。

ロゴは各地商工会議所青年部の英語(Young Entrepreneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者(Youth Energy Generalist)を表現している。

発行：日本商工会議所青年部(日本YEG)
〒100-0005東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所 中小企業振興部内
TEL03-3283-7847 http://yeg.jp/

編集：広報委員会

委員長：加倉井 巧
副委員長：上村幸四郎 川崎 亮一 服部 将則
理事：新行内達夫 辻 中村 久一
松本 清史 中村 昇
専門委員：浜 尚 吉田 修
富岡 久芳 西田 哲也
田部井優介

新行内 こんにちは、本日の進行役広報委員会の新行内です。ズバズバと質問を致しますので本音トークで宜しくお願いします。

西居 はい、宜しくお願います。

新行内 会長のプロフィールを拝見させて頂きました。昭和41年1月5日生まれの山羊座のO型

趣味：ヨット、スキー、ゴルフ
好物：つつり
好きな映画：007シリーズ

好きな歌手：MISIA
最近気になっていること：子供の進路

『最近気になっていること：子供の進路』とは、どうされたのですか。

西居 春の桜を待っている長男と高校2年生の次男の進路が気になっています。放任主義で自由にさせているが、親として気になるところです。

新行内 来年は夢が叶うといひですね。夢が叶うといひば、私の姉が占い師に憧れていて、2年程前に夢が叶い、占いを始め、その姉にタロット占いで占ってもらいました。「リーダータイプ、明るく前向き誠実、才覚にあふれている。」と占いは出ていますが、ご自身ではどう思われますか？

西居 自分のことを自分で理解することはなかなか難しいこと、褒められると嬉しいですね。悪い評価は無かったですか？

新行内 はい、あります。「自信過剰、負けず嫌い、こだわり過ぎる、ナルシスト。」と占いは出ていますが、その点はどうですか？

西居 間違いなく当たっていますね。

新行内 明るく前向きで負け

ず嫌いの性格から、趣味でもあるヨットの腕前は素晴らしいものがあるようです。学生時代にかなり名を馳せたようですが？

西居 大学時代に全日本学生個人・団体を優勝をしていました。

新行内 勝利へのこだわりでがんばって来られた結果ですね。

西居 今もこだわっていて、現役を続けています。
新行内 なぜ、今も尚現役を続けているのですか？
西居 はい、まさしく負けず嫌いな部分があつて、ヨットで未だ達成出来ないタイトルが全日本チャンピオンで、

2番以降はあるが1番はまだないです。今もそこにこだわっていて、全日本参加選手の中では最高齢で体力の続く限り挑戦して1番を目指しています。現役を引退してしまえばその夢には向き合えないので続けています。

新行内 ヨットで名を馳せた大学時代を経て、4年間(株)丸に勤務されていますが、どのような仕事をされていたのですか？

西居 婦人服売場を担当し、販売・形質管理業務をしていました。

新行内 大丸で学んだことは何ですか？

西居 物を売ることの難しさ、

どうしたら売れるのかといった売り方。お客様の購買意欲をくすぐるにはどうしたらよいか。お客様の目線と流通などを学びました。

新行内 大丸退社後、松喜屋に入社。2年後に代表取締役

に就任しましたが、その理由は何か？

西居 松喜屋は食肉販売業ですが、当時母方の祖父が経営をしていました。跡継ぎが無く孫の中からという祖父の思いから私が跡継ぎになりました。私自身もこのような商売をしてみたいという思いはありましたが、入社後2年程で祖父が他界、急遽代表に就任しました。

どうしたら売れるのかといった売り方。お客様の購買意欲をくすぐるにはどうしたらよいか。お客様の目線と流通などを学びました。

新行内 大丸退社後、松喜屋に入社。2年後に代表取締役に就任しましたが、その理由は何か？

西居 松喜屋は食肉販売業ですが、当時母方の祖父が経営をしていました。跡継ぎが無く孫の中からという祖父の思いから私が跡継ぎになりました。私自身もこのような商売をしてみたいという思いはありましたが、入社後2年程で祖父が他界、急遽代表に就任しました。

感じます。単会の活動の中で帰属意識を高めることをしますが、日本YEGではすでにそれはクリアしていて、モチベーションは高いレベルにあり、良い事業を企画し、メンバーが協力しあってアクティブに行動していくことが出来る集団であると出向して感じました。


新行内 4年間連続で全国出向をされて、平成14年から4年間の休息を経て平成18年から再び出向されましたが、なぜ4年間沈黙されたあと、復活されたのですか？

西居 これは休息や沈黙ではなく、13年度に委員長をさせて頂いて日本YEGの仕組を

理解することができ、また20年度に全国大会誘致に必要な基盤づくりができたこと。そして次に滋賀県連として受け入れる態勢を整える為に県連に出向をして準備をした4年間でした。当時の滋賀県連は組織と呼べるような組織ではなかった。県連の纏まりをつくる4年間でした。そして出向10年目の20年度に全国大会を誘致する為、18年度に日本YEGに再び出向しました。

22年度日本YEG 西居基晴会長の 単独インタビューに成功！

スローガン「Make it happen」 夢への挑戦に秘めた思いを語った。



MOTOHARU NISHII

大会を誘致する為の出向でした。

新行内 当時の商青連の印象は、どのようなものでしたか？

西居 当時出向者は40歳以上の方がほとんどで、私からは『雲の上の人たちの集団』という印象がありました。ただ、雲の上の人だけではなく、『熱い』という印象も合わせて思いました。

新行内 その当時、単会と全国との温度差は感じましたか？

西居 当時も同じことが言えますが、単会と比べて、日本YEGに出向されている方のモチベーションの高さを

感じます。単会の活動の中で帰属意識を高めることをしますが、日本YEGではすでにそれはクリアしていて、モチベーションは高いレベルにあり、良い事業を企画し、メンバーが協力しあってアクティブに行動していくことが出来る集団であると出向して感じました。

新行内 4年間連続で全国出向をされて、平成14年から4年間の休息を経て平成18年から再び出向されましたが、なぜ4年間沈黙されたあと、復活されたのですか？

西居 これは休息や沈黙ではなく、13年度に委員長をさせて頂いて日本YEGの仕組を

理解することができ、また20年度に全国大会誘致に必要な基盤づくりができたこと。そして次に滋賀県連として受け入れる態勢を整える為に県連に出向をして準備をした4年間でした。当時の滋賀県連は組織と呼べるような組織ではなかった。県連の纏まりをつくる4年間でした。そして出向10年目の20年度に全国大会を誘致する為、18年度に日本YEGに再び出向しました。

新行内 始めの4年間は日本を知り、次の4年間は県連を纏める為、最後の2年間は全国大会を開催する為ですね。

西居 この10年間は全国大会開催の為に時間と労力を傾けました。

新行内 全国大会開催そして22年度日本YEG会長を務めることに對して社内的に抵抗はありましたか？

西居 18年度以降、全国大会開催や日本YEG会長ということがはつきりしはじめた頃に、社内組織も整えなければならぬと考え、社員の理解を得ながら体制づくりを進めていきました。抵抗とは逆に応援してくれています。

新行内 4月の会長激励会の席に奥様も同席されましたが、会長に就任されるにあたり奥様から何か声は掛けられましたか？

西居 会長に就任するまでが長かったので、家内自身は『何かがあるな』と気が付いていて、私自身もこんな性格なので会長を引き受けても家内は『あんた、がんばりや』と声をかけられたぐらいですかね。

新行内 会長職に限らずどんな役割に對しても家族、社内で理解が得られなければ努まらないことだと思いますが、『YEGと家族』、『YEGと会

社』を両立させる秘訣はどこにありますか？

西居 先ず、『YEGと仕事』は両立できません。なぜかというと時間の使い方をしっかりと管理できれば、YEGで仕事が出来ない、仕事でYEGが出来ないということは私の中ではないです。YEGをがんばれば仕事もがんばれる。仕事で結果を出せばYEGも結果がでるのではないのでしょうか。ただし、休んでいる時間は一切ないです。今以上に忙しかった時期もあり、それでもこなしてやってきました。

新行内 ここで少し話を変えます。会長所信に『未来の起業家の夢、未来の地域の夢、未来の日本の夢』と書かれています。この3つの夢は具体的に何ですか？

西居 先ず起業家の夢として『近江牛地域一番店になること』。次に地域の夢は、私自身滋賀県はマイナーな県と思っていて、料理に例えるとお隣の京都がステーキで滋賀はクレソン。そうではなく、メインのステーキになりたい。最後に日本の夢は、子供たちが大人になった時、生き生きと商売ができる国であるようにYEGを通じて変えていきたい。

新行内 日本の夢は大きな夢で実現できるといいですね。以前から会長さんは「各委員会活動に夢プランを」とおっしゃいましたが、夢プランの取り組みがメンバーに伝わっていないように感じます。改めて夢プランのご説明をお願いします。

西居 メンバー皆さんに伝えたいのは、当たり前に出ることで簡単に済ませないで欲しい。ここに集まってもらえるメンバーの皆さんはモチベーションもスキルもかな

理解することができ、また20年度に全国大会誘致に必要な基盤づくりができたこと。そして次に滋賀県連として受け入れる態勢を整える為に県連に出向をして準備をした4年間でした。当時の滋賀県連は組織と呼べるような組織ではなかった。県連の纏まりをつくる4年間でした。そして出向10年目の20年度に全国大会を誘致する為、18年度に日本YEGに再び出向しました。

り高い方ばかりなので例年の踏襲事業をこなすことは簡単にできてしまう。そうではない、一つステップアップした『一年間必死でがんばらな、ここに届かへんぞ!』という夢を掲げてそれに取り組んで欲しい。皆さんご自分で『これくらいはできるぞ』と分析をしてしまいがちですが、一年では難しいところを、一年で地点にしてチャレンジして欲しい。

新行内 そつ無くこなしてしまおう事業ではなく少し背伸びをして...
西居 いやいや、少しではなく、いっぱい背伸びをして取り組んで欲しいですね。

新行内 それでいい、いっぱいということをお願いします。
ここで核心に迫る質問をしますが、キーワードの「夢」は「未来へと繋がる希望」であつたり、「将来への目標」であつたりしますが、その反面「夢のまた夢」、「夢物語」といった非現実的なイメージもあります。キーワードを夢にしたのはなぜですか?

西居 我々の年代は高度経済成長期やバブル時代といった良き時代を知らない年代で、「いい思い」をしていないと思つていて、そんな我々が大きな夢を抱いてがむしゃらに、ギラギラと熱く、高い理想に向けてチャレンジしていく。「一度転んだぐらいで諦めるな! 転んでも這い上がれ!」といった思いを込め、「夢」に託しています。ヨットマンを今も続けていますが、目標に向かって必死になつて取り組んでいる奴は輝いている、オーラを発している。そうでない人間が取り組んでいてもオーラを感じない。目標に向かってギラギラと取り組むことで人として輝くし、魅力も

出てくるのではないですか。少なくともYEGの皆さんにはそうあつて欲しいです。

新行内 もう一つお聞きします。日本YEGの後援を積極的に勧めていくことに、どのような狙いがありますか?

西居 今までの出向の経験から思うものがあり、単会から見れば『上の組織』、一部の出向者ですが中には『テング』になつている者もいる。『単会とは違うんだ。偉いんだ。』と勘違いしている者もいる。実は日本YEGの出向者は、単会、地域の代表でその推薦を受けて出向している訳で、出向させて頂いている立場だということ。同じ目線で日本YEGと単会との距離を近づけていきたいと考え、後援を積極的に勧めています。

新行内 最後にになりましたが、全国の27,000人のメンバーに向けて一言メッセージをお願い致します。

西居 それぞれ個人個人が単会、地域、会社で輝く存在になつて欲しい。その為には、常に前向きな姿勢、前向きな取り組みをして、出来ない理由は言わない、出来る方法を考える青年経済人でありたい!

新行内 長時間に亘り有難う御座いました。
西居 有難う御座いました。



スポットライト

今回のもう一つの目玉企画の「スポットライト」は、単会の枠にとられず地域のYEGとの連携を図る活動を例に紹介しています。新庄YEGの「地域高規格道路建設延伸の要望書提出」と各務原YEGの「ハイウェイビジネス交流会」を「スポットライト」します。

3月4日、国土交通省に山形県酒田市と宮城県石巻市間の地域高規格道路建設延伸の早期実現を要望した。

新庄YEGと酒田YEGメンバー6名が国土交通省を訪れ、要望書と2万503名の署名簿を手渡した。

太平洋岸の宮城県石巻市から古川市を通り、山形県新庄市を経て日本海岸の酒田市に至るルートは、東北の中で最も幅が狭く、腰のようにくびれていることから「みちのくウエストライン」と名付けられている。太平洋-日本海を結ぶ最短ルートの一つであり、宮城-山形を結ぶ物流ルート

確立への大いなる可能性を秘めており、地域活性化への期待も寄せられている。沿線となる山形県の酒田、新庄、宮城県の古川、石巻の4YEGでは協議会を組織し、交流と連携を図っている。県境を越えた地域のつながりは年々高まり、今回の要望活動へとつながった。『今後も沿線地域との連携を更に強めながら、延伸に向けた多角的な活動を展開していきたい。』と新庄YEG佐藤会長は意気込みを語った。

しく学びました。講師の方の講話を聴くスタイルから自己参加型のスタイルに変えたこともあり盛況の内に終了しました。各務原YEGの横山会長は、「今後もこの事業を継続し、東海・北陸・近畿の交流の場になれば」と語った。



7月9日、岐阜県各務原にて第11回ハイウェイビジネス交流会が開催されました。名神高速道路・北陸自動車道・東海北陸道沿線の滋賀県・福井県・石川県・富山県内の単会が集い、今回で11回目を迎えるビジネス交流会が行われました。講師として株式会社HRの比留間氏を向かえ、一見難しく考えてしまう「金融・財務・投資」を、キャッシュフローゲームを用いて楽

【特集】今年も提言活動を行っています。

今年度の運営方針の一つ「提言活動」をピックアップ。派手さはないが「いぶし銀」の活動に注目して報告します。過去5年間の提言活動は次のとおりです。

■平成18年度

提言1 相続税の非課税
中小企業（非上場）の後継者が承継する場合、相続した自社株式に対する相続税を、非課税（売却した場合を除く）とする。

提言2 第三者個人連帯保証の原則撤廃
中小企業が金融機関から融資を受ける際の「第三者連帯保証」の原則撤廃をはじめ、中小企業金融の円滑化および信用補完制度全般の見直しと改善。

■平成19年度

提言1 地方幹線道路等の早期整備
真に必要な道路高規格幹線道路の計画区画14,000kmの早期整備を優先する。

■平成20年度

提言1 時限的な所得控除の拡大による内需の拡大
現在103万円である所得控除の限度額を健康保険被扶養者の適用年収限度額の130万円に統一する。

提言2 法人税の中小企業軽減率見直し
法人税の中小企業軽減率の適用を現在の「法人所得800万円以下」から「1,600万円以下」に引き上げた上で、中小企業軽減率を15%に引き下げる。

■平成22年度

提言1 就職救済税額の控除
インターン期間6ヶ月の研修を実施し、6ヶ月後、採用に至り、インターン期間と雇用期間の合計年数が1年以上となった場合、45万円/人を税額控除する。ただし、当該事業年度で控除しきれない金額がある場合には、その金額を当該翌年事業年度から3年間に亘り繰越控除する。

今回2事例を挙げ紹介しましたが、今後も各地域で複数の単会がスクラムを組んで活動していくことが、日本の未来に繋がる取り組みではないでしょうか。全国のメンバーに期待します。

万円以下の場合には、その20%の税引前当期利益が1,000万円を超え、2,000万円以下の場合には、その10%の税引前当期利益が2,000万円を超え、3,000万円以下の場合には、その5%の支給額は100万円を上限とする。

提言3 中小企業に対する減価償却の耐用年数の短縮制度の創設
中小企業が固定資産等を購入した場合に、現行の耐用年数の60%の中小企業耐用年数（新設）により、減価償却を行う。

提言4 二世帯住宅減税
二世帯住宅の新築、既存住宅を二世帯住宅に改修・増築などを行った場合に、既存の住宅借入金等特別税額の創設、不動産取得税の大幅な減税、並びに固定資産税の大幅な減税などの総合的な減税対策を行う。

提言5 所得税・住民税減税
二世帯同居の場合、同居親等に対する扶養控除の増額や均等割の減免を行う。

提言6 相続税制の改正
現行の相続税清算課税制度の非課税枠を2,500万円から3,500万円に時限的に拡大する。また、時限的に上記制度との選択適用で、500万円の贈与税の非課税枠を創設する。

日本YEGの4大役割の一つである「組織としての影響力の発揮」を目指し、様々な提言活動を行ってきた。全国組織としてのスケールメリットを最大限に活かし、中小企業を取り巻く環境改善のために、提案提言できる組織であるからである。
23年度税制改正に向けて、日本商工会議所税制専門委員会に「23年度税制改正に関する提言」を提出した。今後も大きな役割である提言活動に寄せられることを期待している。

秋のブロック大会情報

- 北海道ブロック大会留萌大会
8/28(土)~29(日)
会場：留萌市文化センター
テーマ：地域の未来を創造
今、実践する北の商道
- 東北ブロック大会奥州大会
9/3(金)~5(日)
会場：岩手県奥州市市民文化会館
テーマ：奥州(岩手)の絆
東北の輝(ひかり)を放て!
- 近畿ブロック大会津大会
9/10(金)~11(土)
会場：滋賀県立命館大学びわこくさつキャンパス
テーマ：新歩
出会い街道・宿場町草津
- 北陸信越ブロック大会高岡大会
9/18(土)~19(日)
会場：富山県高岡市民会館
テーマ：「ぎずな」FOR ALL
- 九州ブロック大会鳥栖大会
9/24(金)~26(日)
会場：佐賀県鳥栖市民文化会館
テーマ：交流
「集え!」そして羽ばたけ
- 四国ブロック大会阿波池田大会
10/2(土)~3(日)
会場：徳島県三好市池田総合体育館
テーマ：大地の心 天空の郷
「掘り起こせ!」地域の宝
- 関東ブロック大会太田大会
10/16(土)~17(日)
会場：群馬県太田市社会教育総合センター
テーマ：BODYな元気で突き抜ける!!
- 東海ブロック大会半田大会
10/22(金)~23(土)
会場：愛知県半田市福祉文化会館
テーマ：「絆だ」
古から薫り「童話の街から新たなStory」
「友・誇・遊」and「YOU」
- 中国ブロック大会米子大会
10/29(金)~30(日)
会場：米子コンベンションセンター
テーマ：た
「ここからはじまる地域の未来」

編集後記

今回、紙ベースでの情報発信は5年ぶりで全く経験のない情報誌の発行には大変苦労しました。特集の會長インタビューも初体験でインタビューされる西居会長より緊張しました。取材を快く受けて頂いた皆様に感謝いたします。
そしてご協力頂いた皆様ありがとうございました。次回予定は来年2月です。乞うご期待!
担当 長野県連 茅野YEG 新行内達夫